



特集

# 一人ひとりの想いがまちの未来をひきだす

## — 松浦未来会議 —

### ■ 松浦未来会議開催

松浦市では現在、将来の松浦市が目指す姿を描いた「総合計画」の策定に取り組んでいます。

総合計画はすべての計画の基本となるもので、未来の松浦をどのように形作っていきたいのか、市民と行政が思いを共有したものであることが重要です。

そのため、市民のまちづくりに対する幅広い意見やアイデアを汲み上げる新たな試みとして、住民参加型の話し合いの場である「松浦未来会議」を昨年10月から2月にかけて開催しました。

参加者は、人口減少、少子高齢化時代にみんなが幸せに暮らしていくためには何が必要なのか、それぞれの思いを語り、時には文字しながら、話し合いました。

今回、策定過程を皆さんと共有するため、これまで開催された4回の松浦未来会議の様子とこれからの取り組みについて紹介します。（紙面には、ご意見の一部を抜粋して掲載しております。

詳しくは市のホームページで確認できます。）

### ■ 問いかけあい、話を深める

松浦未来会議は、自らの意思で参加された10代から70代の幅広い年齢層の130人以上の委員で構成されています。多様な世代や立場の人が対話することで、新しいアイデアを生み出し、交流を深め、人と人がつながる場です。

参加者は、協議テーマをもとに意見や知識を出し合い、さまざまな考えに触れ、刺激を受け、考えを深めていきます。自由にアイデアを出し合ったり、紙に書いて対話しながら、考えることや対話することを楽しみます。正解があるわけではなく、自由で「自由に話す」、「否定しない」、「話を無理にまとめない」というルールが設けられています。



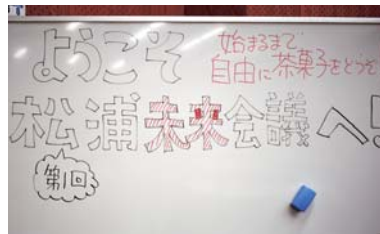


**第1回会議 平成30年10月22日**  
『これまでの10年を振り返る』

これまでの10年を振り返り、まちのイメージや松浦市の「良かったなと思う点（強み）」と「もう少しだと思っ点（弱み）」について、グループごとに意見を出し合いました。

**例えば…**

- 「西九州自動車道で便利になった」
- △ 「子どもの数が減り、小学校の統合や松浦東高校が閉校した」 など



**第3回会議 平成30年12月17日**  
『まちの未来の目標像と必要な取り組みを考える』

目指すべきまちの姿をキャッチフレーズで表し、将来像に近づけるために何をしたらよいか、具体的な取り組みについてグループごとに考えてもらいました。

**例えば…**

- キャッチフレーズ  
「人と人のつながりを大切にし、市民参加で創造するまち松浦」
- 国や県とのつながり
  - 魅力ある仕事づくり
  - 仕事につながる教育環境
  - 地域コミュニティの力を信じる
  - 市と意見交換会の復活 など



**第2回会議 平成30年11月19日**  
『これから10年を考える上で大切な視点を考える』

松浦市を取り巻く現状や課題などを共有するとともに、10年後の松浦市の姿（将来像）を考える際に良い材料となることを期待して、データから見える市の現状を紹介しました。

これを踏まえて「これからの10年を考える上で大切な視点はなんですか」という問いに対し、さまざまな意見が出されました。

**例えば…**

「若者が松浦に帰って来たいと思えるように、働き始めやすい環境をつくる」、「松浦を大好きな子どもたちを育てる」 など



**第4回会議 平成31年2月16日**  
『私たちにできることを考える』

前回考えたキャッチフレーズを7つの分野に振り分け、具体的な取り組みとあわせて自分が優先度が高いと思うものに投票していただきました。

さらに、自分でできること、他の誰か（個人や組織）と融合する（共有する）ことで実現できるものについて、グループごとに考えてもらいました。

**得票の多かったもの**  
の一部を列挙

- 【分野】
- ・暮らしの充実
  - ・子育て教育環境への支援
  - ・今あるものを活かす
- 【具体的な取り組み】
- ・鷹島の元寇船を世界遺産にする
  - ・人が集う場所づくり（カフェ、本屋、飲食店、街づくり）など



**■ 地域に広がる対話の場**

新しい総合計画は、年齢や性別を問わず、対話を重ることで声を集め、大人も子どもも読みやすい内容にしたいと考えています。

今回の未来会議で皆さんからいただいたご意見やアイデアは、計画づくりに活かすとともに、今後開催を予定している小学校区などを単位とした地域版松浦未来会議でも話を深めていただきます。（日程などの詳細は、後日お知らせします。）

地域版松浦未来会議へのご参加、ご理解・ご協力をよろしく願っています。

